

# 緑と生きる

緑生都市神戸 2050

神戸市緑の基本計画の  
改定にむけて

# 目次

1. はじめに
2. 神戸市の緑の現況
3. 現行計画の概要
4. これまでに実施した取り組み
5. 社会情勢の変化
6. 緑の課題の整理
7. 次期計画について
8. 今後のスケジュール

# 1. はじめに

# (1) 緑の基本計画とは？

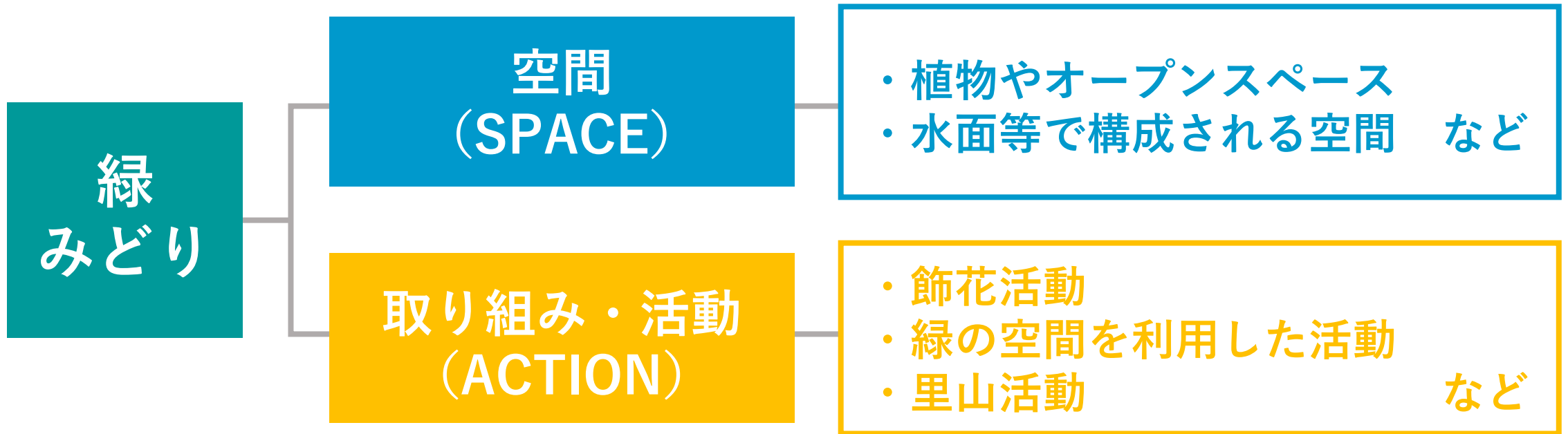
1.はじめに

- ・ 緑地の保全・緑化の推進を総合的・計画的に実施していくことをめざすため、都市緑地法第4条に規定されている計画。
- ・ 市町村が都市公園の整備・緑地の保全・緑化の推進などに関して、緑の将来あるべき姿・目標・施策などを示す。
- ・ 計画の策定にあたっては市民の意見を反映することが義務付けられている。



# (2) 計画における緑の定義

1.はじめに



対象となる緑 | 山 森林 公園 街路 広場 田園 花壇 など

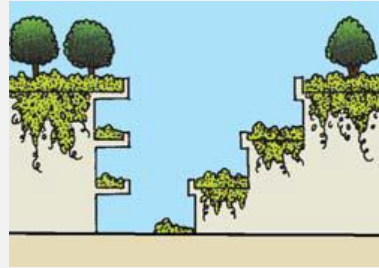
# (3) 緑の役割

1.はじめに

## 都市環境維持・改善の機能



緑陰の提供  
大気汚染の改善



気温の緩和



生物の生息環境

## 防災機能



延焼の  
遅延や防止



災害時の  
避難場所

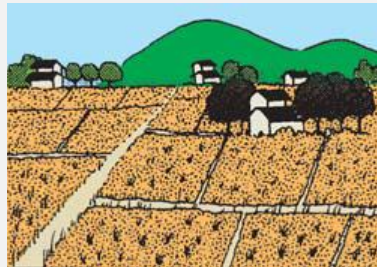


流出量の調整  
洪水の予防

## 景観形成機能



自然景観

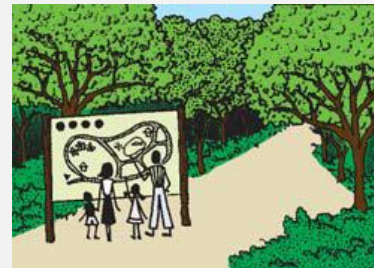


田園景観



潤いのある  
都市景観

## 健康・レクリエーション機能



様々な  
余暇活動の場



休養・休息の場



運動・遊びの場

# (4) 本日の議題

1.はじめに

- 現在の神戸市緑の基本計画「グリーンコウベ21プラン」は、2025（令和7）年に目標年次をむかえます。
- これまでの成果や社会情勢をふまえて、新たな緑の基本計画を作成します。

## 本日、議論していただきたい内容

- ✓ 今までの計画の振り返り
- ✓ これからの神戸市における緑の視点
- ✓ 新たな緑の基本計画の構成案



## 2. 神戸市の緑の現況



# (1) 神戸市の緑の特徴

### 田園のみどり

西北神等に広がる農地、里山を中心とし、貴重な田園風景や豊かな自然環境を形成する緑

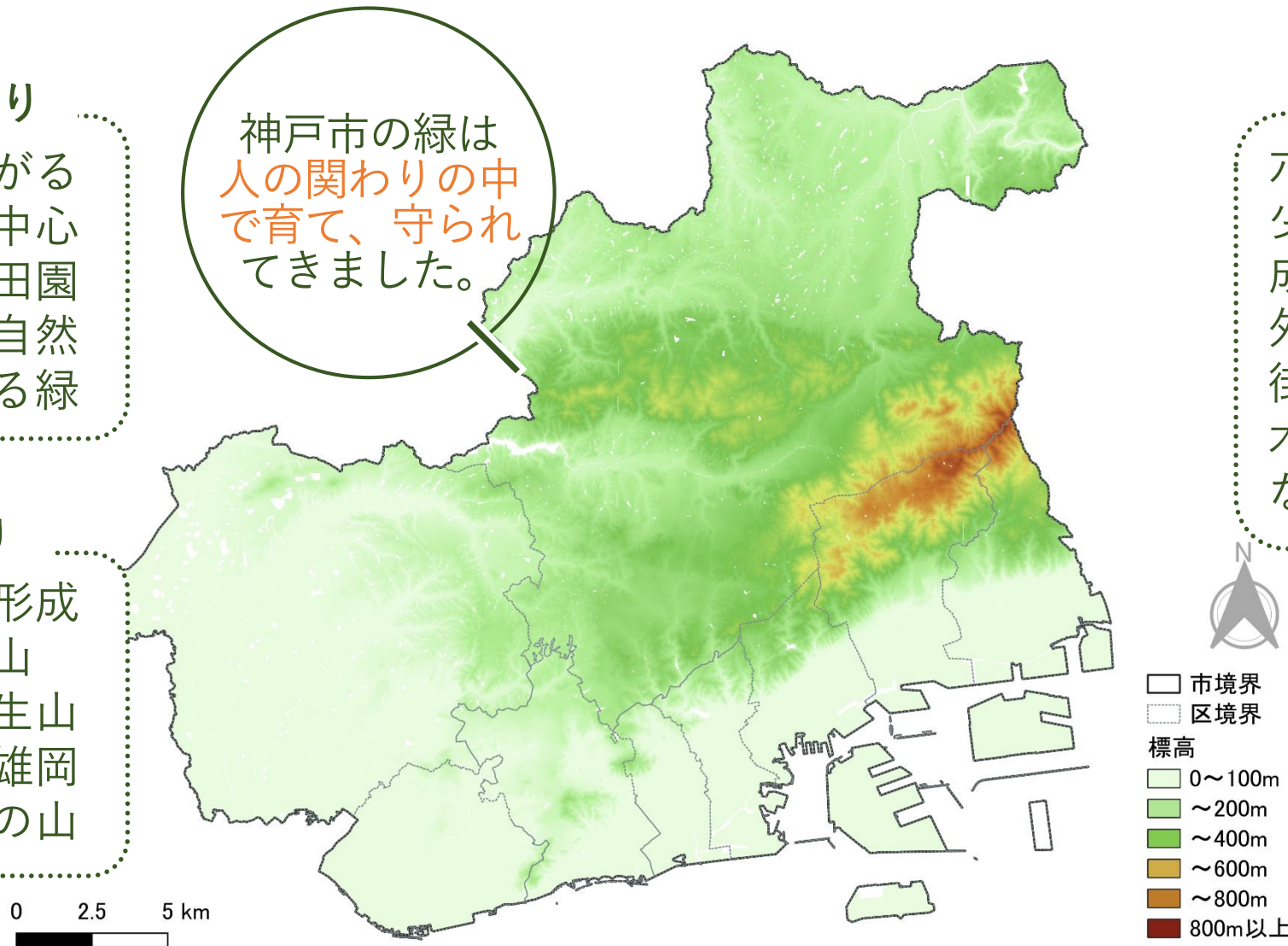
神戸市の緑は人の関わりの中で育て、守られてきました。

### 山のみどり

都市の骨格を形成している六甲山系、帝釈・丹生山系や鎌倉峡、雄岡山・雌岡山等の山の緑

### まちのみどり

六甲山系と海に挟まれ、少ない平地を利用して形成されてきた市街地や郊外住宅地にある、公園や街路樹、河川緑地、庭木、社寺林、民有地の緑など生活と密着した緑



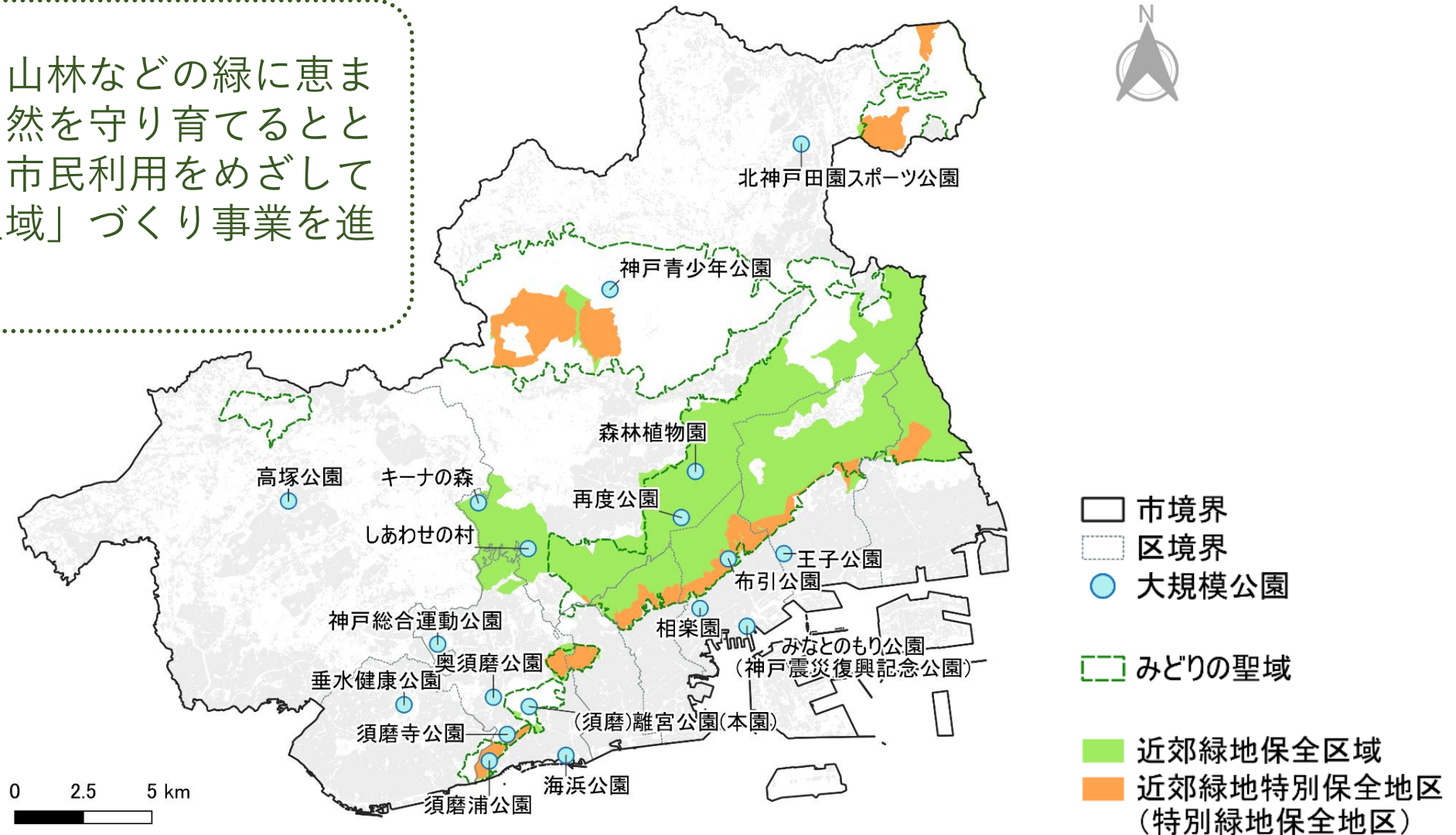
# (2)水系

水系は、六甲山系により大きく四分されます。西区の一部は瀬戸川水系となっています。



# (3) 緑にかかわる法規制

神戸市では、山林などの緑に恵まれた神戸の自然を守り育てるとともに秩序ある市民利用をめざして「みどりの聖域」づくり事業を進めています。

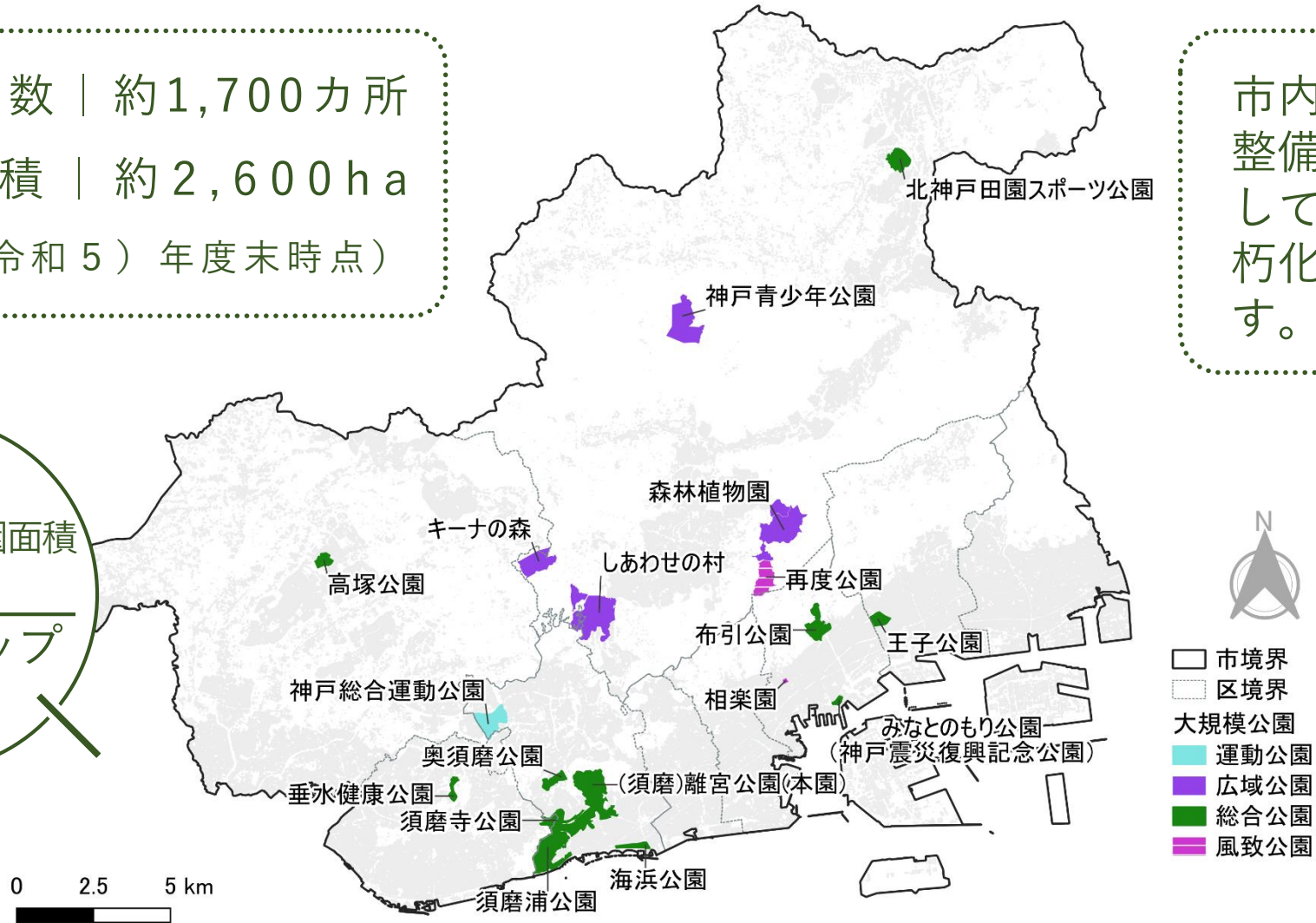


# (4) 都市公園

市内公園数 | 約1,700カ所  
総面積 | 約2,600ha  
(2023(令和5)年度末時点)

市内公園のうち約6割が整備から30年以上が経過しており、公園施設の老朽化が課題となっています。

1人当たり公園面積  
**17.6m<sup>2</sup>**  
政令市トップ



# (5) 街路樹

高木 | 約12万本

中木 | 約14万本

低木 | 約419万本

(2023 (令和5) 年度末時)

- 1971 (昭和46) 年にスタートしたグリーンコウベ作戦により、神戸の街路樹本数は大幅に増加しました。
- クスノキやイチョウ、ケヤキが多く、その他にもサクラやアメリカフウなど花木や紅葉を楽しめる樹種があります。

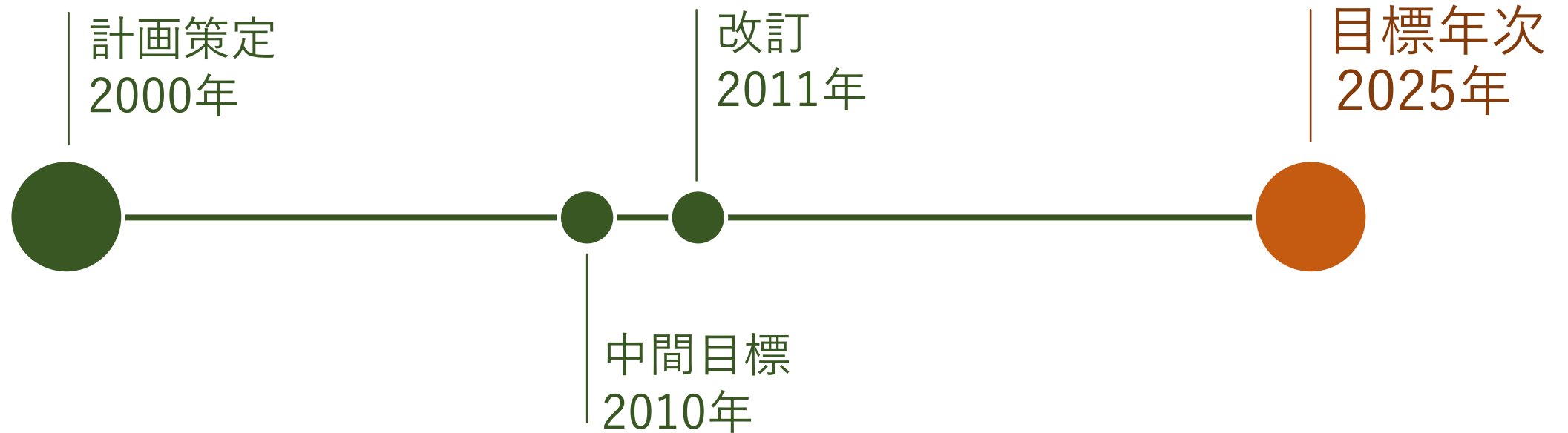


An aerial photograph of a modern urban park. The park features a large, circular green lawn in the lower-left quadrant. A network of light-colored, paved paths winds through the area, connecting various green spaces and circular tree pits. In the center-right, there is a circular area with tiered seating, possibly an amphitheater or a stage. The park is surrounded by urban buildings, streets with cars, and more trees. A semi-transparent dark grey banner is overlaid across the middle of the image, containing the text '3. 現行計画の概要' in white, bold, sans-serif font.

# 3. 現行計画の概要

# (1) 現行計画の目標年次

## 神戸市緑の基本計画「グリーンコウベ21プラン」



# (2) 緑の基本計画の位置づけ

## 総合基本計画

新・神戸市基本構想

2025（令和7）年に向けた都市づくりの最高理念  
基本理念「世界とふれあう市民創造都市」

第5次神戸市基本計画

実現

神戸づくりの指針 2025に向けた長期的な神戸づくりの方向性を示す指針

神戸2025ビジョン（実施計画）

各区計画

緑の基本計画

都市計画マスタープラン 環境基本計画 みちづくり計画 など



# (3) 下位計画の概要

## KOBEパーク リノベーション

2019(平成30)年策定  
目標年次2025(令和7)年

少子高齢化の進行や市民の価値観の多様化などの社会情勢の変化を踏まえ、より地域の状況に応じた公園の整備や管理運営など、身近な公園(=住区基幹公園)の再生のあり方を示している。

## 大規模公園ビジョン

2021(令和3)年策定

市内の大規模な公園(20公園)を対象とし、より市民全体の利益につながるように、大規模公園の価値のさらなる向上を図るための中長期的な将来ビジョンを示している。

▶ 新たな緑の基本計画へ2つの下位計画を集約させる

# (4) 神戸市の緑の構成

緑からみた神戸の都市特性、これまでの緑の歩みなどを踏まえると、3つのゾーンで構成されます。

## みどりのゾーン

六甲山系や帝釈・丹生山系など都市の骨格を形成し、これまで市民のよりどころとして大切に守ってきたゾーン

## まちのゾーン

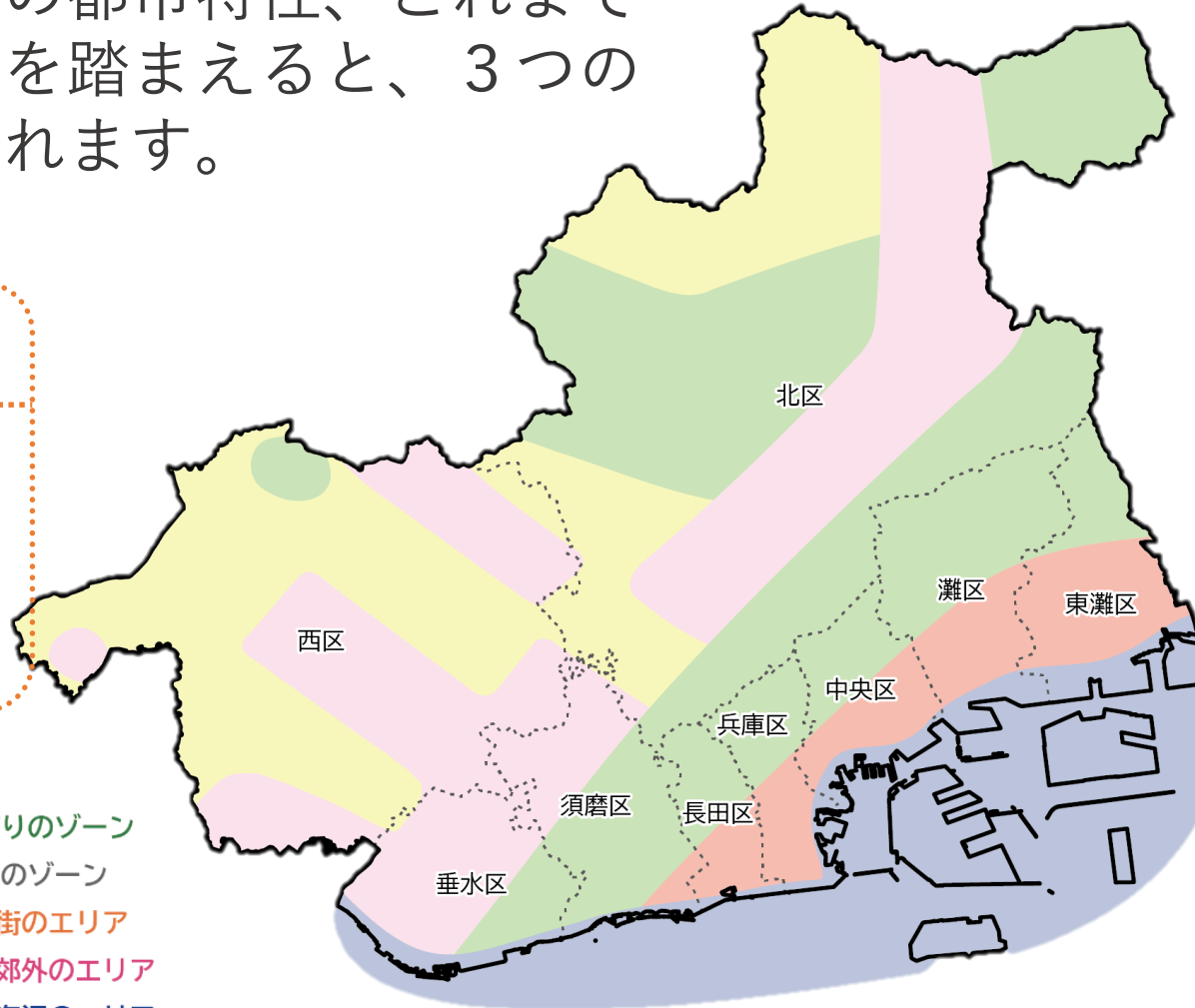
六甲山系の南側に形成された市街地や郊外の住宅地などにおいて、庭木や街路樹、河川緑地、公園などの緑を創出してきたゾーン

## 田園のゾーン

農地・集落・里山など生産活動の場であるとともに、良好な自然環境や景観が保たれてきたゾーン

### 凡例

- みどりのゾーン
- まちのゾーン
- 街のエリア
- 郊外のエリア
- 海辺のエリア
- 田園のゾーン



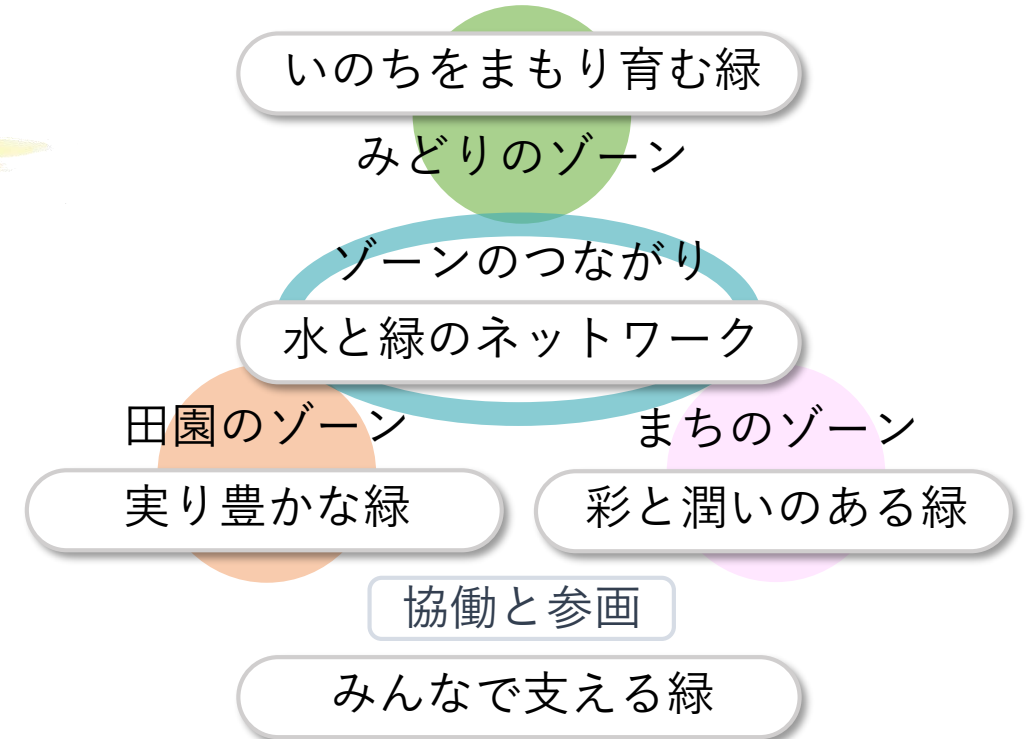
# (5) 現行計画の理念と将来像

## 緑の基本計画の理念

**緑とともに永遠に生き続ける都市＝緑生都市**

それぞれのゾーンの特性に合わせた緑の施策を展開し、水と緑のネットワークの形成によって各ゾーン間を有機的につなげていきます。

また、協働と参画による人と緑の関わりによって、市民みんなで各ゾーンの緑を支えることで、まち全体がいつまでも豊かな水と緑に包み込まれたまちをめざします。



# (6) 各ゾーンにおける将来像

## みどりのゾーン

六甲山をはじめ神戸の骨格となる森林を市民みんなで守り育てることによって、自然災害から市民の暮らしを守り、これまでのように市民の心を癒し続ける存在であるとともに、生き物の多様性をはじめとする地球環境にやさしい、緑豊かなゾーンをめざします。

## まちのゾーン

震災の教訓を活かした安全で快適なまちが緑で育まるとともに、神戸らしい洗練されたまちをめざします。郊外では、安全で安心して緑に親しむことができるまちをめざします。緑に彩られたデザイン性に優れたオープンスペースの創出によって、新たな憩いや賑わい、魅力と活力あるまちをめざします。

## 田園のゾーン

都市近郊に広がる農地・里山・集落などにおいて、生物多様性に配慮して自然環境を保全・育成するとともに、都市と農村の交流や拠点となる場づくりを通して、農村地域のコミュニティが活性化されることによって、豊かな実りや美しい農村景観、人と人、人と自然との交流が享受できるゾーンをめざします。

# (6) 各ゾーンにおける将来像

## ゾーンのつながり

海、まち、川、山、田園におけるそれぞれの特徴的な自然環境を緑や人の営みによってつなげることによって、神戸のまち全体で様々な生き物を育むとともに、神戸らしい景観をつくり、「快適さ」と「ゆとり」と「潤い」のあるまちをめざします。

## 協働と参画

3つのゾーンにおける緑との関わりを通じて、震災を機に育まれた人と人とのきずなをさらに強固なものにするとともに、会社全体で神戸の緑を守り育てていくことで、未来にわたって豊かな緑が受け継がれていくようなまちをめざします。

# (7) 施策の展開

## 1. みどりのゾーン ～いのちをまもり育む緑～

- 方針1 六甲山系や帝釈・丹生山系など都市の骨格となっている緑を保全・育成・活用し、市民の暮らしや自然環境、美しい景観を守ります。

## 2. まちのゾーン ～彩と潤いのある緑～

- 方針2 緑の資産を適切に維持管理・更新し、利活用を促進することにより、安全で適切な空間をつくります。
- 方針3 洗練された緑花により、まちの魅力に磨きをかけます。
- 方針4 緑をまもり・うみだし・つなぐことで、災害に強く、快適なまちをつくります。
- 方針5 住宅地内及びその周辺の緑を活用して、様々な人が緑と触れ合うことにより、良好な住環境を形成します。
- 方針6 観光の歴史や文化的資産を活用し、都心・ウォーターフロントの新たな魅力を創出します。
- 方針7 須磨から垂水・舞子に至る海辺の魅力向上を図ります。

## 3. 田園のゾーン ～実り豊かな緑～

- 方針8 生物多様性の拠点をつくり先導的な取り組みや情報発信、意識啓発を図ります。
- 方針9 田園コミュニティの拠点の創出や里づくりにより、農村と都心との交流を促進します。

## 4. ゾーンをつながり～水と緑のネットワーク～

- 方針10 みどり・まち・田園をつなぐ水と緑のネットワークを形成します。

## 5. 協働と参画 ～みんなで支える緑～

- 方針11 緑とのふれあいによって、地域のきずなを育みます。
- 方針12 緑の恩恵を受けるすべての人が、神戸の緑を支えていきます。
- 方針13 緑から学び、緑を継承していきます。

# 4. これまでに実施した取り組み



# (1) 目標の達成状況

4. これまでに実施した取り組み

## 市域における永続性のある緑地の面積 達成

目標値  
35,000ha以上 ⇒ **35,000ha以上**  
(35,847ha)

## まち中における緑の面積の割合

▽市街化区域における緑被率  
目標値  
3割以上 ⇒ 計測中

## 身近な緑に満足していると感じている市民の割合

▽市民アンケートにおいて「満足している」と回答した割合

目標値  
2011年時点の割合  
21.9%以上 ⇒ **19.0%**

## 緑に関する活動に参加している市民の割合

▽市民アンケートにおいて活動に「参加していない」と回答した人を除いた割合

目標値  
2011年時点の割合  
28.7%以上 ⇒ **27.4%**

# (1) 目標の達成状況

4. これまでに実施した取り組み

## 身近な緑に満足していると感じている市民の割合

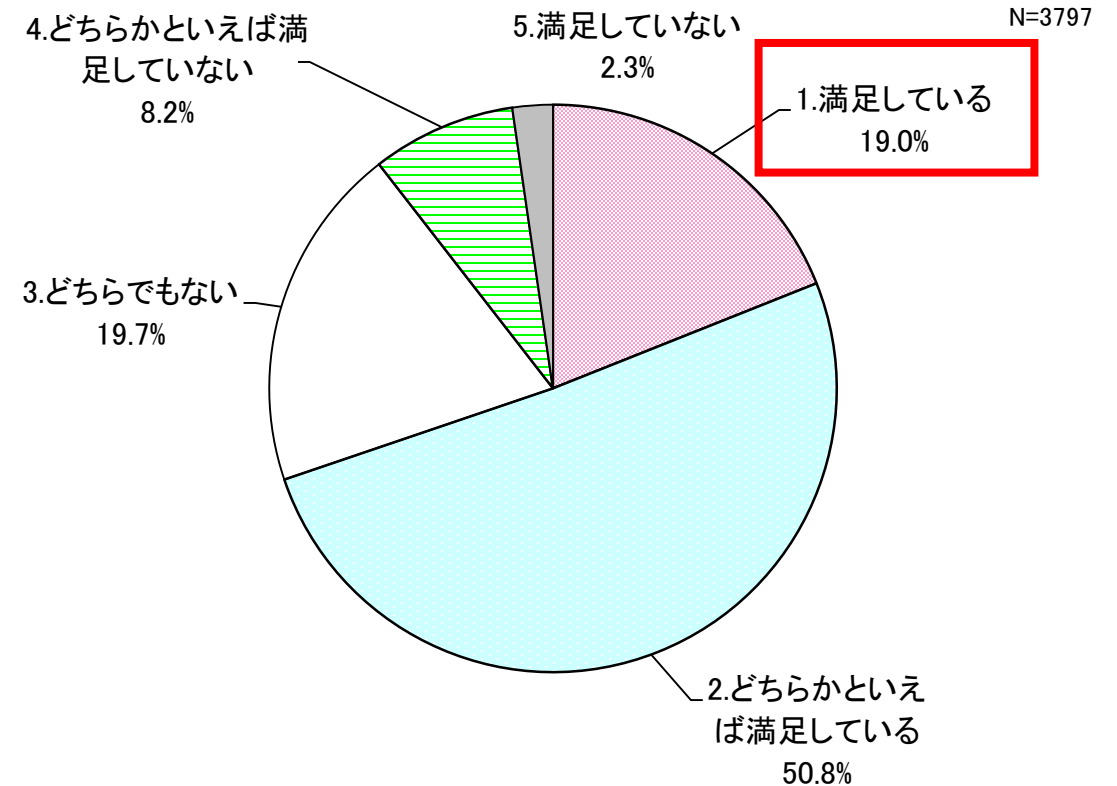
▽市民アンケートにおいて「満足している」と回答した割合

2011年時点の割合  
21.9%以上 ⇒ **19.0%**

- ✓ 神戸市の緑に対して、「満足している」割合は19.0%、「どちらかといえば満足している」は50.8%という結果になった。
- ✓ 一方で、身近な緑の量に関しては、約6割が「充分にあると思う」と回答した。

ネットモニターアンケート (R6年1月実施)  
回答者数：3797名

問1 神戸市の緑について、満足していますか。



# (1) 目標の達成状況

4. これまでに実施した取り組み

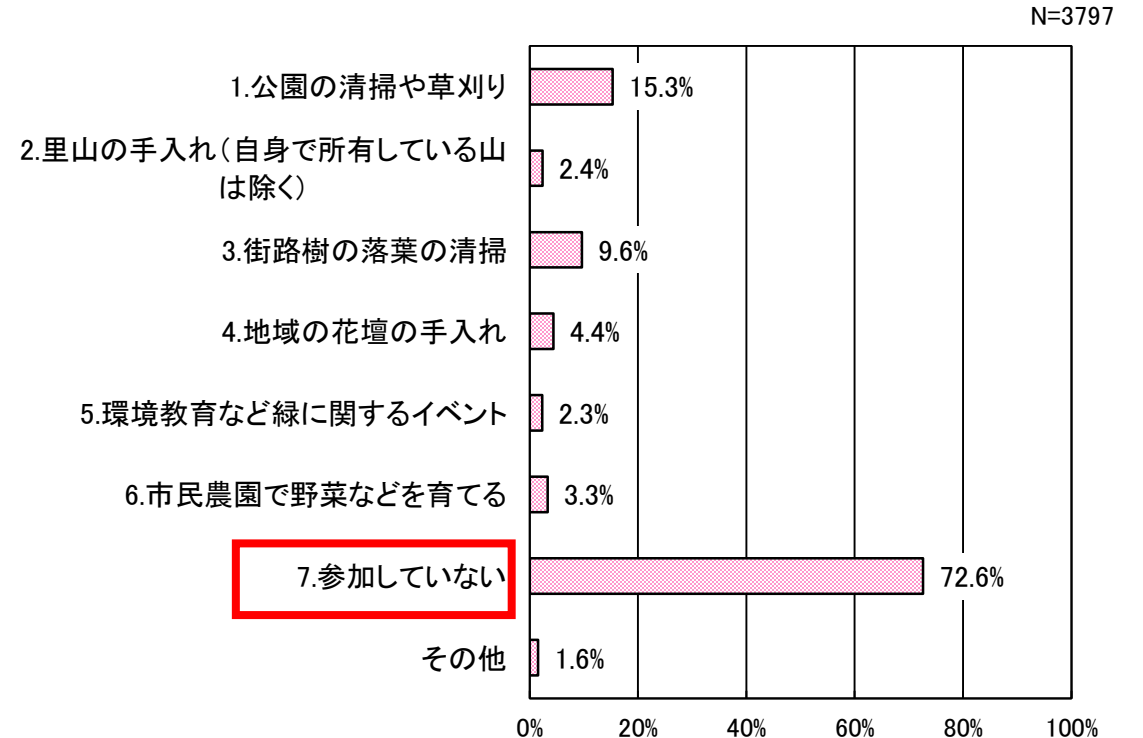
## 緑に関する活動に参加している市民の割合

▽市民アンケートにおいて活動に「参加していない」と回答した人を除いた割合

2011年時点の割合  
28.7%以上 ⇒ **27.4%**

- ✓ 緑の活動に参加していない割合が、約7割であった。
- ✓ 一方、今後の活動への意欲に関しては、「機会があれば参加したい」という回答が約4割を占めた。

問7 あなたがこの1年間に参加したことがある緑に関する活動について教えてください。（あてはまるものすべて）



# (2)みどりのゾーンでの取り組み

4.これまでに実施した取り組み

## こうべ森と木のプラットフォーム

### みどりのゾーン | 方針1

神戸市の市域の40%を占める森林の機能を維持するために木材活用を含んだ森林循環の仕組みを構築することを目指し、令和5年度にプラットフォームを立ち上げた。

令和5年は、フォーラムの開催や神戸市のストックヤードにおける木材管理の視察を行い、官民学で森林を育み・活かす取組の検討を行った。



# (3) まちのゾーンでの取り組み

4. これまでに実施した取り組み

## 拠点公園の再整備



まちのゾーン | 方針2.5.7

地域の顔となる拠点公園を各区3～4公園ずつ設定し、大型遊具を設置するといったこどもの遊び場の拠点となるような再整備等を実施した。令和5年度末までに9公園で着手。

## 東遊園地の再整備



みどりのゾーン | 方針1 まちのゾーン | 方針2.3.4

都心三宮の賑わい創出拠点として、東遊園地の再整備を行なった。平成27年度から社会実験を行い、利活用方法を検討。P-PFIを活用した再整備により令和5年春に北側がリニューアルオープンした。

# (3) まちのゾーンでの取り組み

4. これまでに実施した取り組み

## Living Nature KOBE



まちのゾーン | 方針3

新たなみどりと花のブランディングとして令和3年度よりスタートした。まちなかに神戸らしい自然環境を活かした「自然の景」を作り出すことで、人と自然が共に暮らす都市・神戸を目指す。

整備箇所 | 京町筋、東遊園地、磯上公園

## 花と緑のボランティア活動



まちのゾーン | 方針2.5 協働と参画 | 方針11.12

多くの公園では、地域の方々に結成された「美緑花ボランティア」や「公園清掃ボランティア」が清掃・除草などの日常管理を行っている。日ごろから親しまれることが、安心な空間の形成へと繋がっている。

美緑花ボランティア団体数 | 707団体

# (3) まちのゾーンでの取り組み

4. これまでに実施した取り組み

## 街路樹の再整備



まちのゾーン | 方針2.5

これまでに培われた街路樹を守りながら、健全で安全な街路空間を目指すため、2017（平成29）年に街路樹再整備方針を策定。まちなみと調和のとれた街路景観にするため、適正な樹木管理だけでなく、大木化・老木化した樹木の計画的な除去や、周辺環境に応じた街路樹の適正化を行った。

# (4) 田園のゾーンでの取り組み

4. これまでに実施した取り組み

## キーナの森（神戸市北区）


みどりのゾーン | 方針1 田園のゾーン | 方針8  
協働と参画 | 方針12

キーナの森は、生きものの“つながり”を守る人と自然の“つながり”をつくる、人・活動・場所の“つながり”をつくるという3つの“つながる”をキーワードに「生物多様性保全のシンボル拠点」として2017(平成29)年に開園した。

市民参加による里山保全活動「もりかつ」が行われている。里山林の手入れ、ため池の整備、薪小屋づくりなど様々な活動を通じて、自然やかつての人の営みを学ぶ、環境教育の場にもなっている。





A photograph of a lush green forest. The scene is filled with tall, slender trees whose trunks lean at various angles. Sunlight filters through the dense canopy of bright green leaves, creating a dappled light effect. A large, thick tree trunk with a gnarled texture is prominent in the foreground, extending from the left towards the right. The overall atmosphere is serene and natural.

# 5. 社会情勢の変化

# (1) 神戸市の上位計画や関連計画

## 上位計画

総合基本計画（マスタープラン）2025年度  
改定

[新・神戸市基本構想] [第5次神戸市基本計画] [2025ビジョン(実施計画)]

## 関連計画

- ・ 神戸市都市計画マスタープラン 2025年度  
改定
- ・ 六甲山森林整備戦略 2025年度  
改定
- ・ 生物多様性神戸プラン 2025年度  
改定
- ・ 神戸市環境基本計画 2025年度  
改定
- ・ みちづくり計画 2025年度  
改定
- ・ 神戸市都市空間向上計画（立地適正化計画）
- ・ 人と自然との共生ゾーン整備基本方針
- ・ KOBE里山SDGs戦略
- ・ 神戸ウォーターフロントビジョン
- ・ 神戸市都市景観形成基本計画

## (2) 国の動きや新たな視点

### ✓ 新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開

2016（平成28）年5月にこれからのまちづくりに対応した緑とオープンスペースのあり方、都市公園を活用したまちの活力創出の方向性等について示した「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について」（国土交通省）が公表された。

#### 今後の緑とオープンスペース政策において重視すべき観点

「ストック効果をより高める」「民との連携を加速する」「都市公園を一層柔軟に使いこなす」

→これを受けて、2017（平成29）年6月に都市緑地法・都市公園法等が改正

「公募設置管理制度（Park-PFI）」等の創設や、緑の基本計画への記載項目の拡充（都市公園の管理方針等）などが追加された。

# (2) 国の動きや新たな視点

## ✓ グリーンインフラの推進

---

グリーンインフラとは、インフラ整備等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用して、持続可能で魅力ある国土づくり・地域づくりを進める取組。

2023（令和5）年9月には、グリーンインフラ推進戦略2023が策定され、官・民が両輪となって、あらゆる分野・場面でグリーンインフラを普及することで「自然と共生する社会」を目指すための取組が位置付けられた。

# (2) 国の動きや新たな視点

## ✓ 都市における緑地の質と量の確保

都市における緑地の質と量両面での確保を進め、良好な都市環境を実現していくために、2024（令和6）年5月に都市緑地法の一部が改正された。

国主導で都市における緑地保全の方針を策定



戦略的な都市緑地の確保

緑地の機能維持増進を位置づけ



都市緑地の積極的な保全・更新

民間事業者等による緑地確保の取組の認定制度の創設



都市環境整備への民間投資の呼び込み

# (2) 国の動きや新たな視点

## 新たな 視点

|            |                       |            |
|------------|-----------------------|------------|
| ネイチャーポジティブ | SDGs                  | グリーンインフラ   |
| こどもまんなか社会  | Well-being            | 人口減少社会     |
| 30 by 30   | デジタルトランスフォーメーション (DX) |            |
| 高温常態化      | 民間活力の導入               | カーボンニュートラル |

# 6. みどりの課題の整理

# (1) 取組状況から見た課題

## キーワード

- ◆ 継続した森林の管理・育成・活用 ▶ 緑の保全育成／ストックの活用／産官学の連携／新たな技術・価値
- ◆ 選ばれるまち「神戸」の形成 ▶ 景観／魅力創造／拠点公園
- ◆ 身近な緑化の推進や緑地の保全・活用による住環境の向上 ▶ 拠点公園／都心緑化／憩い・安らぎ
- ◆ 公園等の安全・安心の向上や利用促進 ▶ ストックの活用／拠点公園／安全安心／子どもの遊び場／にぎわいづくり



# (1) 取組状況から見た課題

## キーワード

- ◆ オープンスペースの確保や防災機能の向上 ▶ 防災減災／ゆとり空間の創出／安全安心
- ◆ 緑による人と人とのつながりの形成 ▶ 拠点公園／コミュニティ／フレイル予防／地域協働
- ◆ 社会全体で緑を育む仕組みや意識の形成 ▶ 環境教育／フレイル予防／仕組みづくり／ブランディング
- ◆ 歴史・文化を活かした魅力の向上 ▶ 歴史文化／景観／里山・田園

# (2) 社会情勢から見た課題

## キーワード

◆ 自然災害への対応



防災減災／グリーンインフラ

◆ 高温常態化への対策



気候緩和／グリーンインフラ

◆ 持続可能な社会への貢献



緑の保全育成／生物多様性

◆ 水と緑のネットワークの形成



防災減災／グリーンインフラ

◆ 六甲山の景観や森林レクリエーション機能の向上



緑の保全育成／景観／環境教育

◆ 生物多様性の保全



生物多様性／環境教育

# 7. 次期計画について

- ✓ 今までの神戸市緑の基本計画における基本理念を引き継ぎます。

緑とともに永遠に生き続ける都市＝緑生都市

緑と生きる

緑生都市神戸 2050

---

神戸市緑の基本計画

# 緑の基本計画の構成案

7.次期計画について

- ✓ 現行のゾーンの考え方を受け継ぎつつ、4つの方針を主軸としていきます。

**みどりのゾーン**  
いのちをまもり育む緑

**まちのゾーン**  
彩と潤いのある緑

**田園のゾーン**  
実り豊かな緑

## 方針

守る

創る

触れる

支える

# 構成案に取り入れるべき項目

7.次期計画について

## 守る

- ・ 生物多様性
- ・ 歴史文化
- ・ 防災減災
- ・ 気候緩和
- ・ 景観
- ・ 里山、田園
- ・ 緑の保全育成

## 創る

- ・ グリーンインフラ
- ・ 魅力創造
- ・ ゆとり空間の創出
- ・ ストックの活用
- ・ 拠点公園
- ・ 都心緑化

## 触れる

- ・ 環境教育
- ・ コミュニティ
- ・ にぎわいづくり
- ・ 子どもの遊び場
- ・ フレイル予防
- ・ みどりの価値

## 支える


- ・ 安心安全
- ・ 新たな技術・価値
- ・ 仕組みづくり
- ・ 地域協働
- ・ 産官学の連携
- ・ 人材育成
- ・ ブランディング

# 次期計画の目標年次

7.次期計画について



# 今後のスケジュール(予定)



|        |      |     |                 |
|--------|------|-----|-----------------|
| 令和6年度  | 9月   | 第1回 | 計画緑化部会（本日）      |
|        | 12月  | 第2回 | 計画緑化部会          |
|        | 2月   | 第3回 | 計画緑化部会          |
|        | 3月   |     | 骨子案の作成          |
| 令和7年度※ | 4月～  |     | 素案の作成           |
|        | 9月～  |     | パブリックコメントの実施    |
|        | 12月～ |     | パブリックコメントの意見の反映 |
|        | 3月   |     | 緑の基本計画の改定       |

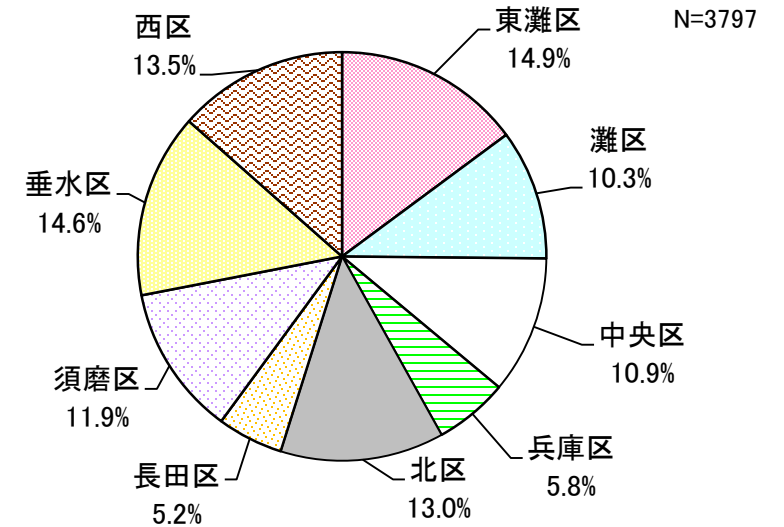
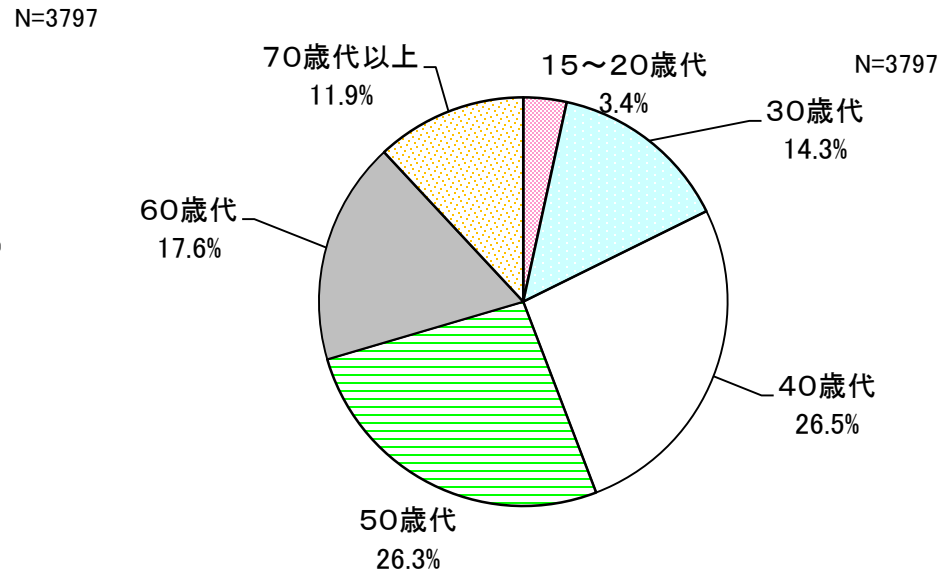
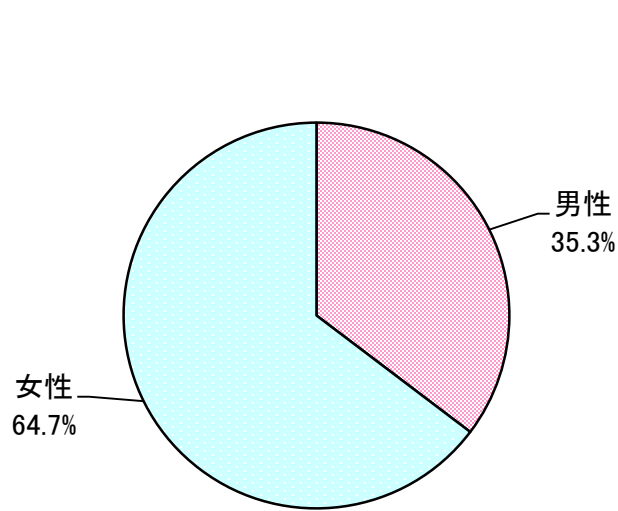
※ 令和7年度も適宜、公園緑地審議会の本会や部会に諮っていきます。



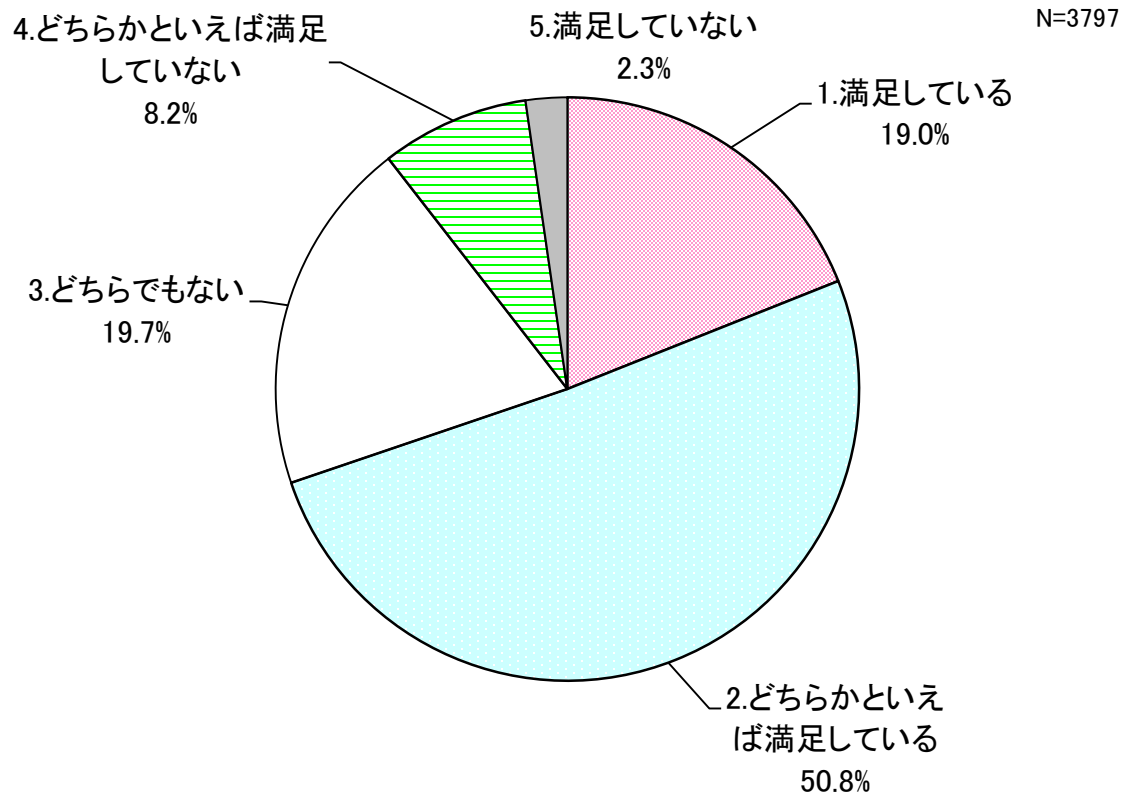
# 參考資料

# ネットモニターアンケート結果

- 「神戸市の緑に関する意識や活動状況について」
- 実施期間：令和6年1月18日～1月31日
- 有効回答者数 3,797名／8,223名（46.2%）



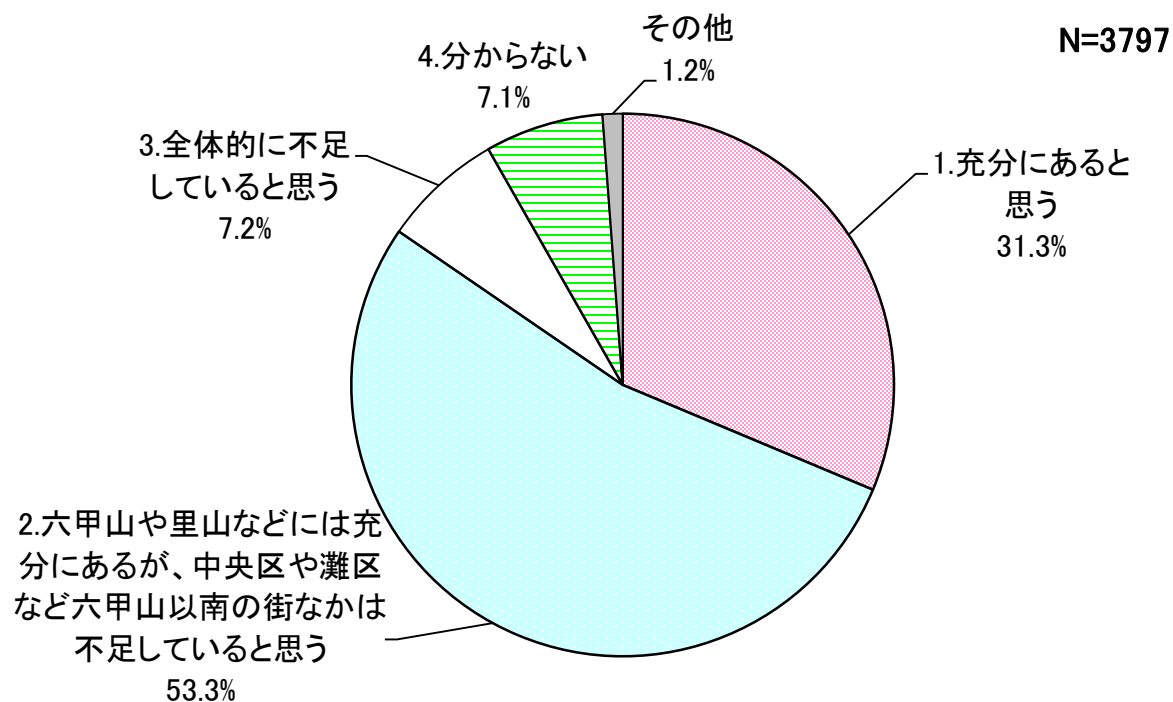
# 問1 神戸市の緑について、満足していますか。



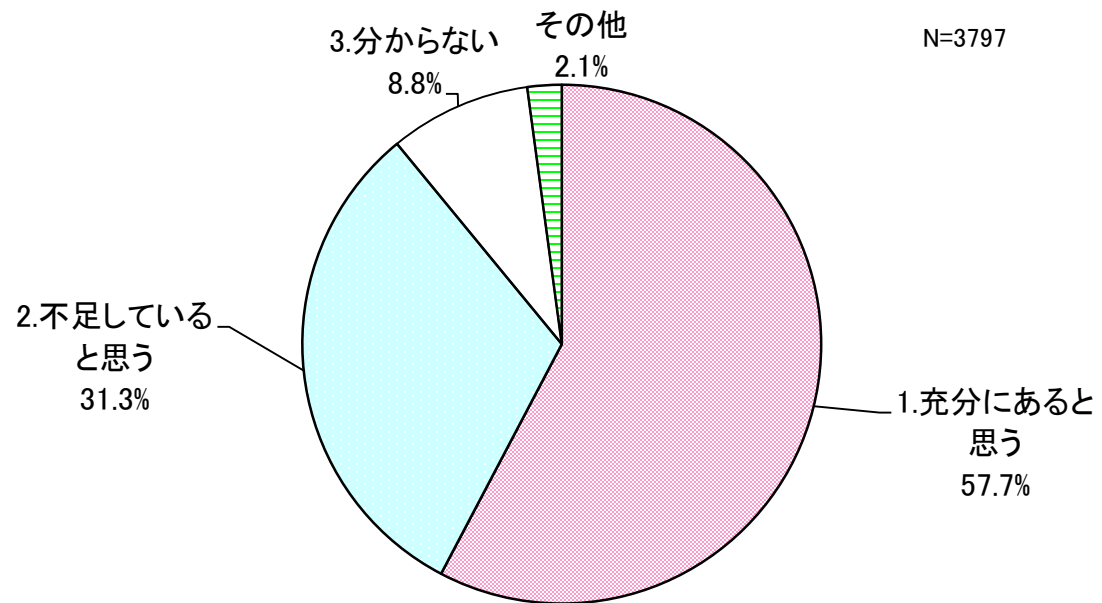
H22グリーンコウベ21プラン  
「身近な緑に満足していると感じている  
市民の割合」

満足 21.9%  
どちらかといえば満足を含めると70%

問2 神戸市全体の緑の量について、どのように感じていますか。

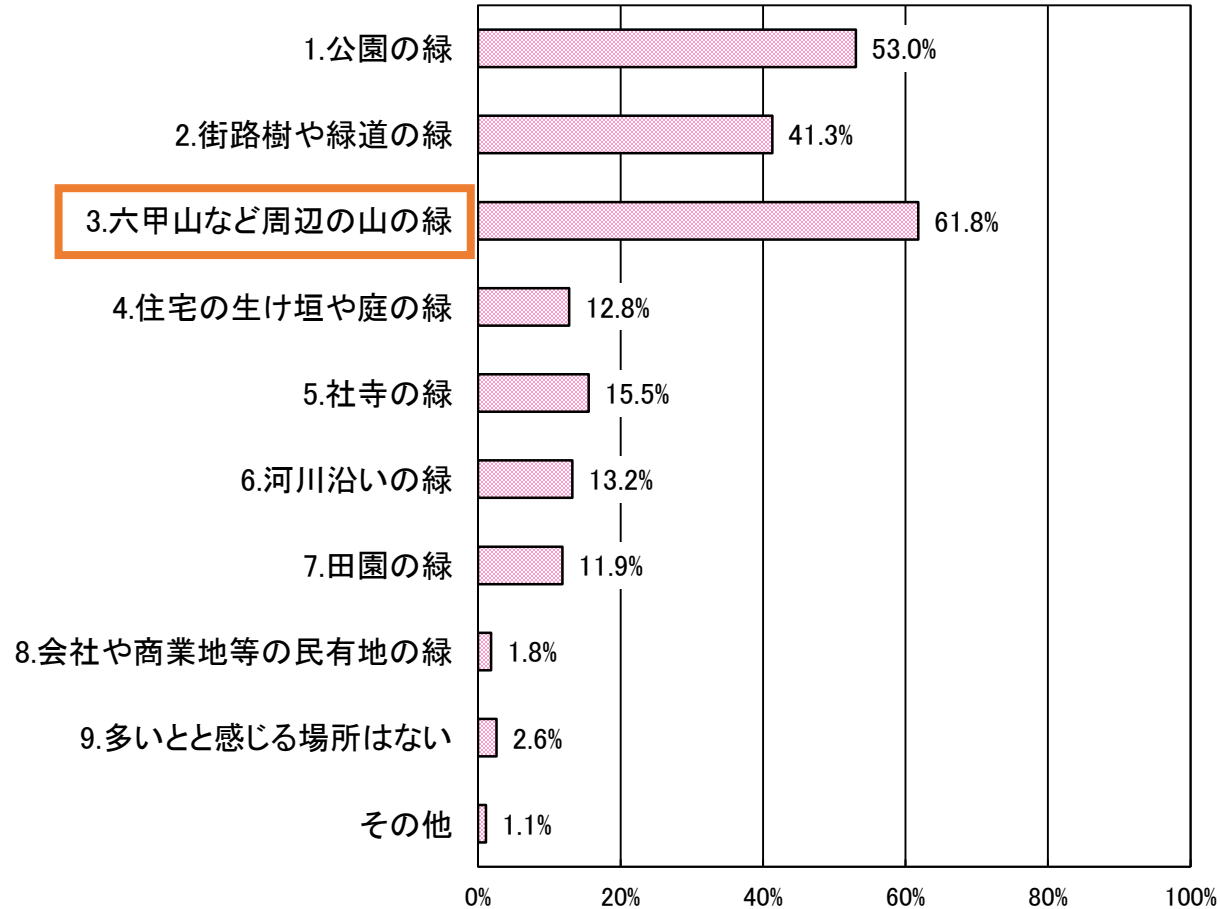


問3 ご自身の身近な緑の量について、どのように感じていますか。

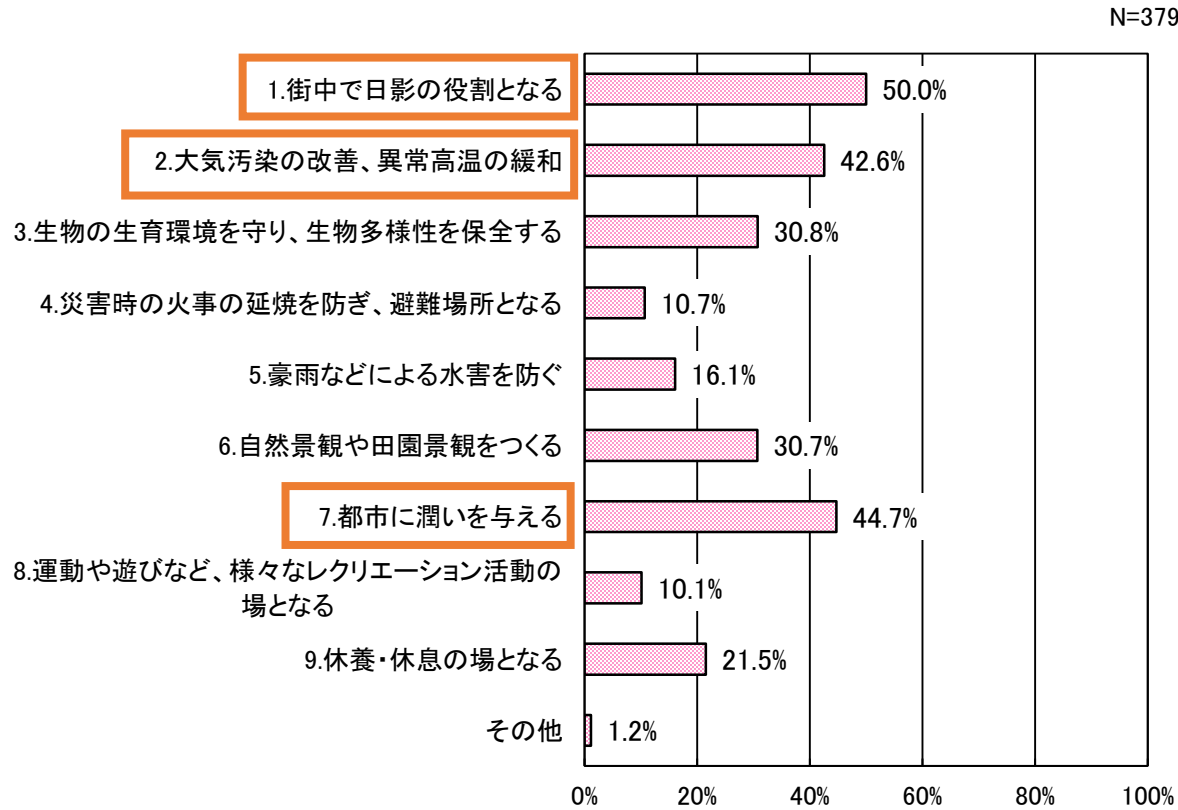


問4 あなたは普段の生活の中で、どの場所の緑が多いと感じますか。(3つまで)

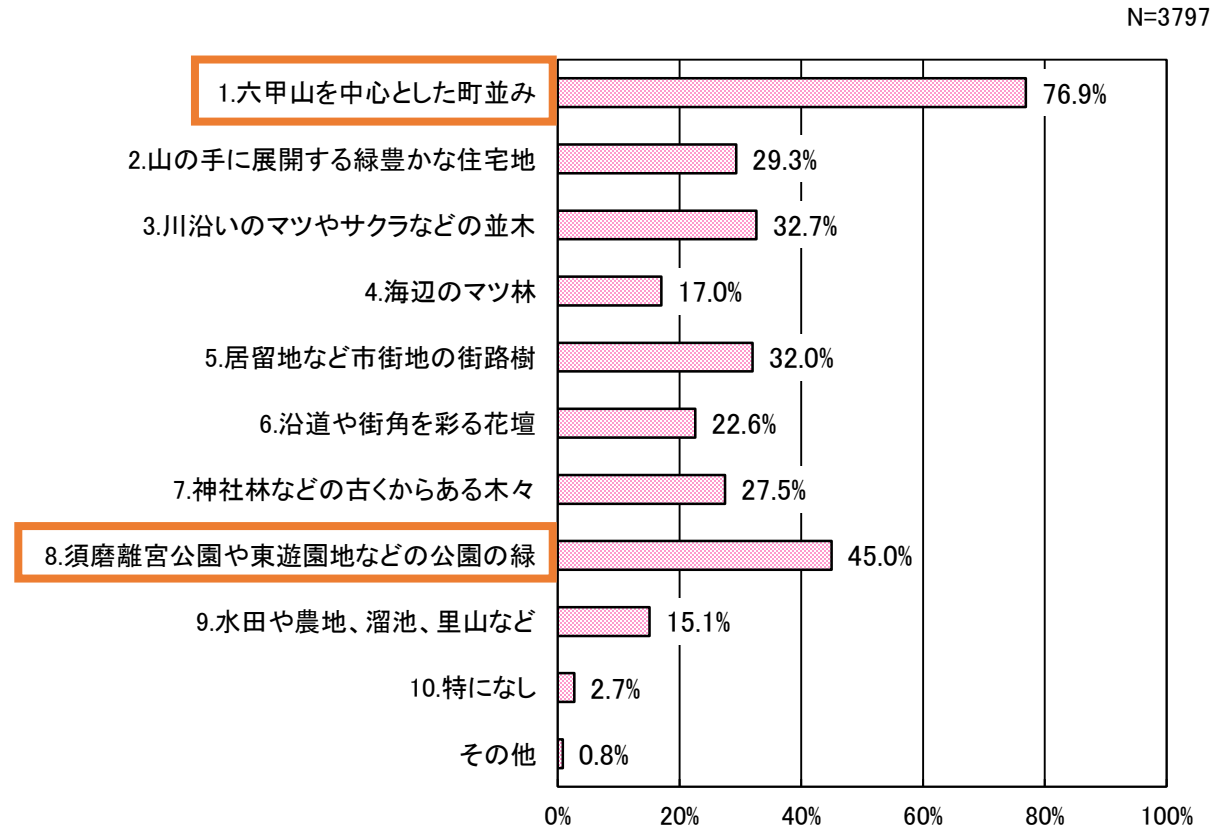
N=3797



問5 神戸の緑に対して、どのような効果を期待しますか。(3つまで)

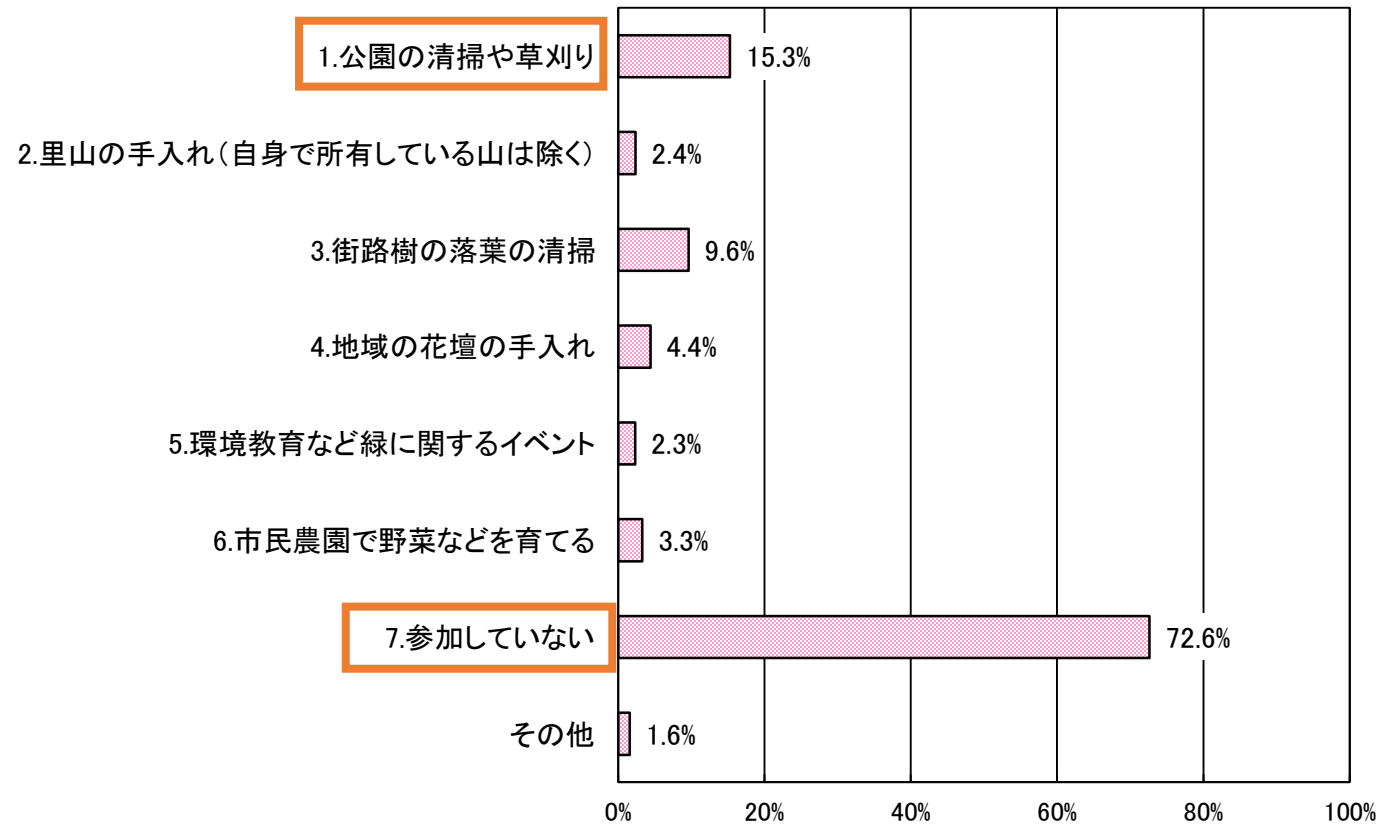


問6 「神戸らしい緑」と感じる景観は何ですか。(あてはまるものすべて)



問7 あなたがこの1年間に参加したことのある緑に関する活動について教えてください。  
(あてはまるものすべて)

N=3797



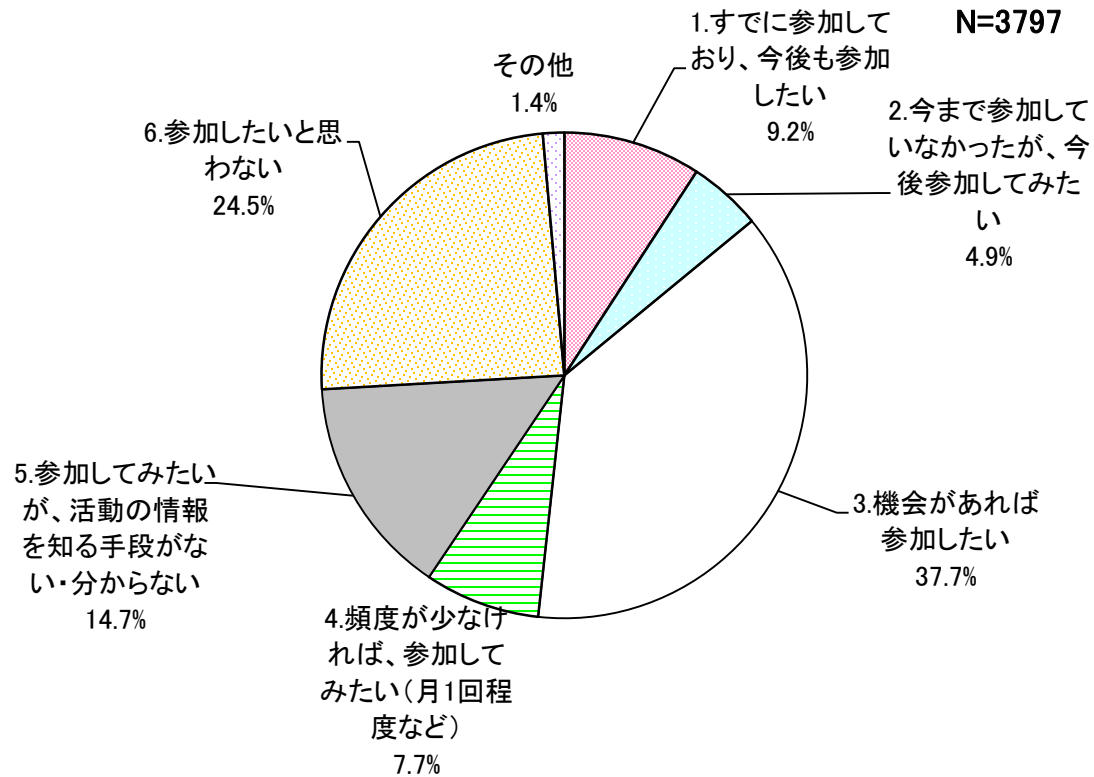
緑に関する活動への参加率

27.4%

H22グリーンコウベ21プラン  
「緑に関する活動に参加している割合」

28.7%

問8 今後、緑に関する活動に参加したいと思いますか。



問8-1 緑に関する活動で、興味がある・参加してみたいと思うのはどのような活動ですか。(すでに参加しているものも可)

